

## 愛媛県

届出事業所からの「水域への水生生物に対する毒性重み付け排出量」が全国500位以内の市区町村と  
主原因3物質（令和元年度）

県内 順位	市区町 村名	各市区町村での主原因3物質名と毒性重み付け届出排出量(10 <sup>6</sup> L/年)			
		全物質合計	1位物質	2位物質	3位物質
1	松山市	153,783,598	EPN 143,055,000	ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル (C:12-15及びその混合物) 5,100,000	ポリ塩化ビフェニル類(PCB) 4,142,000
2	西予市	5,195,015	EPN 4,884,000	ポリ塩化ビフェニル類(PCB) 152,000	チウラム(チラム) 101,200
3	伊予郡松 前町	4,669,630	EPN 2,640,000	フェニレンジアミン 1,826,000	ポリ塩化ビフェニル類(PCB) 76,000
4	四国中央 市	1,391,890	EPN 937,200	ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル (C:12-15及びその混合物) 272,000	亜鉛の水溶性化合物 102,660
5	今治市	594,597	マンガン及びその化合物 490,282	亜鉛の水溶性化合物 32,650	EPN 26,400
6	新居浜市	565,390	銀及びその水溶性化合物 155,200	亜鉛の水溶性化合物 139,442	バナジウム化合物 81,600